

「健康日本21 あいち新計画」の最終評価について

1 全体の目標達成状況

基本目標である「健康長寿あいちの実現（健康寿命の延伸と健康格差の縮小）（1項目2指標）」については、「B（策定時より改善）」であった。

この基本目標を達成するために、基本方針（Ⅰ）（1項目1指標）、基本方針（Ⅱ）（5分野、29項目44指標）、基本方針（Ⅲ）（6分野、52項目67指標）、基本方針（Ⅳ）（5項目5指標）を合わせた全88項目117指標についての目標達成状況は、表のとおりである。

「A（目標を達成）」の割合が高く改善傾向となった分野は、「基本方針（Ⅰ）生涯を通じた健康づくり」、「基本方針（Ⅲ）歯・口腔の健康」であった。

また、「D（策定時より悪化）」が目立った分野は、「基本方針（Ⅰ）生涯を通じた健康づくり」、「基本方針（Ⅱ）COPD」、「基本分野（Ⅲ）栄養・食生活」であった。

表 健康日本21 あいち新計画の目標達成状況

基本目標	基本目標と基本方針	指標数	A	B	C	D	E	A	D
基本目標	健康長寿あいちの実現 （健康寿命の延伸と健康格差の縮小）	2	-	2	-	-	-	0%	0%
基本方針（Ⅰ）	生涯を通じた健康づくり	1	-	-	-	1	-	0%	100.0%
基本方針（Ⅱ）	疾病の発症予防及び重症化予防	44						20.5%	18.2%
分野	がん	8	2	1	1	4	-	25.0%	50.0%
	循環器疾患	15	4	7	4	-	-	26.7%	0.0%
	糖尿病（うち再発）	11	1	9	1	-	-	9.1%	0.0%
	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	4	-	1	-	3	-	0%	75.0%
	歯科疾患	6	2	3	-	1	-	33.3%	16.7%
	生活習慣の具直し	71(67)						11.9%	25.4%
基本方針（Ⅲ）	栄養・食生活	17	1	5	2	9	-	5.9%	52.9%
	身体活動・運動 ^(※)	16(14)	2	8	3	1	2	14.3%	7.1%
	休養・こころの健康	9	1	4	-	3	1	11.1%	33.3%
	喫煙 ^(※)	15(13)	1	11	-	1	-	7.7%	7.7%
	飲酒	7	1	5	-	1	-	14.3%	14.3%
	歯・口腔の健康	7	3	2	-	2	-	42.9%	28.6%
基本方針（Ⅳ）	社会で支える健康づくり	5	1	2	-	2	-	20.0%	40.0%
指標数合計		123(119)	19	58	11	28	3	19	28
指標数割合			16.0%	48.7%	9.2%	23.5%	2.5%	16.0%	23.5%

※ 計画期間中の見直しにより指標が変更、廃止されたため、策定時と指標数が異なる項目
（ ）は最終評価時の指標数

A：目標を達成 B：策定時より改善 C：変化なし D：策定時より悪化 E：判定不能

2 主な結果

(1) 健康長寿あいちの実現(2指標)

目標に及ばないものの改善がみられ、健康寿命は策定時よりも男性(71.74→72.85、+1.11)、女性(74.93→76.09、+1.16)ともに増加した。平均寿命の延びと比較すると、男性は平均寿命の増加分(79.62→81.65、+2.03)に及ばず、女性は増加分(86.14→87.25、+1.11)を上回った。

	策定時	直近値	目標値
健康寿命(男)	71.74	72.85	75以上
(女)	74.93	76.09	80以上

(2) 生涯を通じた健康づくり(1指標)

十分な改善が見られず、策定時が63.6%、中間評価では63.2%、最終評価では57.0%と減少が続いた。40～50歳代は、60歳代以降の年代と比べると健康的な生活習慣を送っていると思う者が少なく、働く世代に対する正しい生活習慣の獲得に向けてさらに取組が必要である。

	策定時	直近値	目標値
健康的な生活習慣を送っていると思う者の増加	63.6%	57.0%	80%以上

(3) がん(8指標)

3指標(37.5%)が改善、4指標(50%)が悪化した。がんの年齢調整死亡率は男性・女性ともに大きく減少し目標を達成した。一方、2次予防であるがん検診の受診率は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要があるものの悪化しており、受診率の向上に向けたさらなる取組が必要である。

達成度の高かった指標

	策定時	直近値	目標値
75歳未満のがんの年齢調整死亡率(男)	107.1	77.2	83.2以下
(女)	61.3	52.3	56.5以下

悪化した指標

	策定時	直近値	目標値
肺がん検診受診率	23.8%	6.7%	50.0%
大腸がん検診受診率	20.0%	7.0%	50.0%
子宮がん検診受診率	38.2%	14.1%	50.0%
乳がん検診受診率	31.1%	13.7%	50.0%

(4) 循環器疾患(5指標)

11 指標 (73.3%) が改善し、2 指標 (13.3%) が変化なしで、リスク要因である血圧、LDL コレステロールの指標については改善傾向であった。一方、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率に改善は見られず、特定健診・特定保健指導をはじめとした生活習慣改善のための取組が不十分であった。分野全体として改善傾向にはあるものの目標には及ばない指標も複数あることからさらなる取組が必要である。

達成度の高かった指標		策定時	直近値	目標値
悪化した指標	家庭で血圧測定をしている者の割合	64.0%	70.1%	64.0%以上
	脂質異常症の減少(男)	30.3%	27.0%	23.0%以下

(5) 糖尿病(11指標)

10 指標 (90.9%) が改善、1 指標 (9.1%) が変化なしであった。糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数は、ゆるやかに減少傾向である。しかし、有病者の割合については減少率が少ない現状である。分野全体として改善傾向にはあるものの目標には及ばない指標も複数あることからさらなる取組が必要である。

達成度の高かった指標		策定時	直近値	目標値
悪化した指標	血糖コントロール指標における不良者の減少	1.2%	0.9%	1.0%以下
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率	20.6%	13.6%	25.0%以上

(6) COPD(慢性閉塞性肺疾患) (4指標)

3 指標 (75.0%) が悪化し、悪化が目立った分野である。COPDに関する啓発普及の取組が不十分であり、今後さらなる取組が必要である。

悪化した指標		策定時	直近値	目標値
悪化した指標	COPDの認知度	39.2%	29.1%	80.0%

(7) 歯科疾患(6指標)

5 指標 (83.3%) が改善、1 指標 (16.7%) が悪化した。各年代に対して様々な対策が進み指標が改善したが、成人期の歯周病対策については今後も取組が必要である。

達成度の高かった指標

75 歳から 84 歳で 20 本以上自分の歯を有する者の割合の増加

悪化した指標		策定時	直近値	目標値
悪化した指標	歯周炎を有する者の割合の減少(40 歳)	27.4%	49.2%	20.0%以下

(8) 栄養・食生活(17指標)

6 指標 (35.3%) が改善、9 指標 (52.9%) が悪化し、十分な改善が見られなかった。食行動を変容するための環境整備は進めているものの、食生活の改善には至らなかった。生活習慣病のリスク要因である肥満の割合も減少はみられず、今後さらに取組を進める必要がある。

達成度の高かった指標		策定時	直近値	目標値
悪化した指標	低栄養傾向高齢者の割合の増加の抑制	19.9%	19.9%	19.9%以下
	肥満者の割合の減少 (20～60 歳代男性)	24.2%	30.5%	21.0%以下
悪化した指標	肥満者の割合の減少 (40～60 歳代女性)	13.3%	18.8%	10.0%以下
	1 日あたりの野菜摂取量の増加	273g	252g	350g 以上

(9) 身体活動・運動(14指標)

7 指標 (57.1%) が改善、1 指標 (7.1%) が悪化し、2 指標 (35.8%) 判定できないという結果となった。女性では、運動習慣の割合の増加が進まず、歩数については悪化となり、行動変容への働きかけが十分とは言えない結果となった。悪化した指標については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要がある。

達成度の高かった指標		策定時	直近値	目標値
悪化した指標	日頃、歩数計をつけている者の割合の増加	24.2%	49.2%	40.0%以上
	日常生活における歩数の増加(20～64 歳、女)	7,224 歩	6,245 歩	8,500 歩以上

(10) 休養・こころの健康(9指標)

5指標(55.6%)が改善、3指標(33.3%)が悪化であった。特に30代～40代で「睡眠による休養を十分にとれていない者」が増加しており、休養に関する対策が不十分な結果となった。また、心理的苦痛を感じている者の割合は増加し悪化となったが、新型コロナウイルス感染症の拡大による生活習慣の変化が影響したことも考えられる。

達成度の高かった指標

策定時	直近値	目標値
愛知県ファミリー・フレンドリー企業の増加	109社	77社
		60社/年

悪化した指標

こころの状態に関する6項目の質問(Ⅸ6)において10点以上の者の割合の減少

策定時	直近値	目標値
	14.2%	16.7%
		10.0%以下

(11) 喫煙(13指標)

12指標(92.3%)が改善、1指標(7.7%)が悪化であった。喫煙率は減少し、改善が進んだ。年代別では50代・60代の喫煙率は高かったが、禁煙をしたいと思う者も一部いることから、引き続き禁煙のサポート支援を推進する必要がある。

達成度の高かった指標

策定時	直近値	目標値
16～19歳の喫煙者の割合の減少(女)	4.6%	0.0%
		0.0%

悪化した指標

策定時	直近値	目標値
禁煙サポート薬剤師のいる薬局の増加	685か所	181か所
		685か所以上

(12) 飲酒(7指標)

6指標(85.7%)が改善、1指標(14.3%)が悪化し、全般的には改善傾向であった。女性では、生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者が悪化していることから、飲酒に伴うリスクと適度な量の飲酒に関する理解について、今後も普及啓発に取り組む必要がある。

達成度の高かった指標

生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少(男)

策定時	直近値	目標値
	16.4%	12.3%
		15.0%以下

悪化した指標

生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少(女)

策定時	直近値	目標値
	3.6%	8.7%
		3.0%以下

(13) 歯・口腔の健康(7指標)

5指標(71.4%)が改善、2指標(28.6%)が悪化となり、全般的には改善が見られた。各年代における指標は改善しつつあるが、成人期の歯周病対策については今後も取組が必要である。

達成度の高かった指標

年1回以上歯の検診を受けている者の割合の増加(30歳代)

策定時	直近値	目標値
	38.3%	59.8%
		55.0%以上

悪化した指標

歯周炎を有する者の割合が25%以下である市町村の増加(40歳)

策定時	直近値	目標値
	50.0%	5.8%
		100.0%

(14) 社会で支える健康づくり(5指標)

5指標(60.0%)が改善、2指標(40.0%)が悪化となった。地域のつながりの強化、地域活動への主体的な参加の2指標が、策定時と比較し中間評価、最終評価と減少傾向にあった。新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限で地域内での活動が縮小したことも一部影響したと考えられる。今後、改めて社会環境の整備に取り組む必要がある。

達成度の高かった指標

市町村健康増進計画を策定している市町村数

策定時	直近値	目標値
	54市町村	54市町村
		54市町村

悪化した指標

居住地域でお互いに助け合っていると思う者の割合の増加

策定時	直近値	目標値
	47.5%	40.2%
		63.0%

